



会長 やつては。元々役所に入ってる下水道普及率の問題にすり説明を求めたら説明出来なかった。普及率というものは出来る可能面積をいってる。面積比率だったり人口比率だったりでこの比率をとるかで違う。

市長 貸付制度があるよだから

会長 そういふので出来るだけやりやすいようにする。

市長 下水道はこれだけ社会資本投資をしてる。殆ど意識がない。遠くでは徹底的に投資してるからそれを回収する為にどんぐり使ってるも無い。

会長 下水道料金を取ればそれで済むから

長島 一人あたりでいくらの投資にするか。

市長 200億以上投資したとて人口5万人とすると一人あたり40万円とこれだけ金を出せばそれで済む。しかもトイレの経費が下水道の経費より11割くらい違う。トイレの汲み取り料が安い。だからどうしても変えなくていいという人はいない。

高橋 汲み取りの方が安いという問題は。

市長 汲み取りも浄化槽でも安い。下水道の普及率が低いとまぼいひが普及率の上でくると社会資本をくいつぶしてるといえる。そういう問題は普及率の高くてこそ出てくる。

長島 サンプルが必要ではないか。

市長 今迄は下水道が敷設されてるというサンプルしかしてなかったから、これから陰の部分に情報公開してサンプルをいれよう。そういう姿勢が大事だ。

長島 川の水の性質が変わってる。

市長 下水は処理してるから。川もリンはついてる高度処理してると。真水が生水になる。生水のせいで藻類が変わる。藻類が繁殖して今では千葉の岸へ持っていかせるくらい生える。川もリンが増えて富栄養化する。河口部分で生水でなく直接海に生水が出来るので調査する必要がある。

高橋 処理場が海岸にあるから。

市長 現在人口6万人。処理水は川に流す。非常に川もリンが増える。沖合に放流口を出して潮流に混ぜてしまえばいいんじゃないか。あるいは高度処理するか。高度処理すればコストは高く場所もない。

高橋 沖合に流すのはどうなのですか。

市長 500mくらいで出来るんじゃないか。次の計画でその調査を始める。

会長 基本的に人間が使う水は使えない。生態系に合わせる生活をしているから。

市長 逗子湾の水質調査についてのデータはない。貝が生育する条件がどうなのかわからない。

長島 昔はこういう貝がいたという記録がある。

長島 調べればわかる。

長島 そういふ貝が生育するにはこういう水質だったかわかる。

市長 水産試験場で貝についてのデータはない。逗子でこういう貝を養殖させたら貝が聞いても全然生息出来たんじゃない。要するに内海でいかに栄養がたりないというのをもう少し自然状態の貝の生息状態をたどるといい。

のため。

長島 逗子の海岸を維持するため貝殻が必要で、貝殻を生かすためには  
水質を良くしなければなりません。この関係で大きくていて  
キャンペーンをするのもまたこの川の川の考えを思う。

高橋 逗子の川の問題でいつか話しています。

市長 それについてはかなり意識されてきている。県の湘南地区  
の70年代には 藤沢から三浦までは一体として保全策を  
考えようという方向になってきた。水質改善の目標をどのよう  
に定めるか議論されています。この水質を悪くならないようには  
どうするかという議論に付いている。

高橋 先日の上野巨頭会談がどうか。

市長 その会談は藤沢から西側の国道計画を中心とする。  
国道造れば緑地がなくなるから木を植えればいいという発想  
だが東側は自然海岸が残っている。そのほか、  
また鎌倉市長が提案しているのは、海岸の道路を地下  
化したらどうかという事。

道路を地下化する事で海と陸が地下水で繋がっている  
のが合断を断ち切ろう。水脈を目の見えないところまで切っ  
ていこうという問題が、解明されれば簡単には言えない。  
いろいろ要素がある。道路が出来れば貝殻を回収する  
要素は海の汚れと水の流れる断ち切らなければならない。研究  
での生水は回収する必要がある。

会長 地下化して全部砂浜にするのは不可能。排気口を取っ  
ていこう。

長島 半地下化すればどうか。

会長 高潮問題もある。

市長 横浜の首都高速の3号線に上の部分をあげてみて具体的  
に考える前にベースに作ることを先決としておきたいと非常  
にまずいので話したい。

会長 河川も随分考え直して来た。

高橋 工事の上に木を植えてはいいけれども改善されてきた。

会長 いよいよ最近では植えてもよく、ある時からいけばよかった。  
風で根をゆるむからだ。

市長 田代川は根がなくて景観的に良くなる。改修にあたって  
は、根を残せばいい。保子用道路のところに木を植えたらい  
い。大塚下水道管を埋めてから木を植えたらと言っ  
てる。検討中という。都市型の河川の改修はあつかい。

長島 横浜の大塚川は1.5~2mのところに植える。

市長 逗子では、その場所を取らない。

畑田 川のそばに植物を植えるのはいい。コンクリートの  
川をくぐらせた生物はわいてくる。

高橋 草加市の金井市長は景観と水質の二つの委員会を  
作った。全国で一番汚い綾瀬川がある。木を植えている  
が、治水は治水で付いている。

市長 鎌倉では瀬川を歩いてさかのぼるようになった

長島 横浜の林田川をカヌーで下った。

会長 治水はいいが、市民がその川に寄りかかっているのには  
心配がある。

高橋(博) 子供達も本気で川を利用するようになればいい。川に  
近づいていこう。

市長 市民自ら環境マップを作った。水生生物の生息地を  
子供達も先決としていこうと決まっています。

高橋(博)生活の容易した川の利用がよい。

高橋 川は連続して調査してゆくと、湘南高校では部活で  
毎年川の水质調査をしている。

萩原 横浜の鶴見川環境団体の話を聞いた。

高橋(博) 逗子に昔から住んでいる人は、自分の川を山や川に  
通らなくて、新しく入ってきた人は、そうしてきては  
いない。

萩原 東京都港区役所の職員研修に町議会研修センターの  
系列職員が町議会に来て、話を聞いた。これは、私は  
講師で、教えるというよりは、事例を話して、職員が  
自分達で見つけたことをどう活かせるかという話を職員  
に聞かせるという研修に市民参加を取り入れた  
プログラムを組んで、ワークショップをしてもらった。

高橋 女性の目線で逗子の公衆トイレを調べた。それを男性  
人間の目線で調べる。これは、教育の場だ。

市長 逗子は小工の町だから、そういうところから変えていく必要がある。

長島 これで終了です。長島、ありがとうございました。